



令和4年11月7日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

## 「将来にわたり持続可能な営農」に関する ワークショップ（全4回）を開催！

昨今の農業を取り巻く環境は、気候変動、担い手の減少など全国的に大変厳しい状況です。中でも、いわゆる中山間地域は、一般的に営農の条件が不利と言われ、その厳しさは一層深刻さを増します。本市の中山間地域である、萩・長沢地区も例外ではありません。

このような状況に地域が一体となった取組みを展開することを目指し、豊川市では、農林水産省の中山間地農業ルネッサンス推進事業を活用し、当該地区の中心経営体の農業者を中心にした「将来にわたり持続可能な営農」に関するワークショップをコーディネーターの方をお迎えし下記のとおり開催します。ぜひ、ご取材ください。

### 1 日時及び場所

回数	日時	場所
第1回	11月11日（金） 第1部 10：00～12：00 第2部 13：30～15：30	第1部 音羽運動公園 もくもくハウス 第2部 現場視察（萩・長沢）
第2回	11月12日（土） 14：00～16：00	豊川市役所本庁舎3階 本31会議室
第3回	11月18日（金） 14：00～16：00	豊川市役所本庁舎3階 本34会議室
第4回	11月19日（土） 14：00～16：00	豊川市役所本庁舎3階 本31会議室

### 2 ワークショップの概要

地元の中心経営体、農協、消費者、販売事業者、学生など様々な関係者の皆様と一緒に、「萩・長沢地区の持続可能な営農」に向けた自由なアイデアなどを出し合う内容となっています。このワークショップは、専門のコーディネーターの方をお迎えして実施します。

回数	主な内容（予定）
第1回	（第1部）萩・長沢地区のこれまでの取組について ①振り返り ②評価 （第2部）まち歩き（現場観察）
第2回	・当該地域がさらされている（さらされるであろう）脅威 →そこから見えてくるチャンスとは！
第3回	・事例紹介 ・課題・脅威に対しての手法の洗い出し ※「農業 × X」
第4回	・洗い出した手法の整理、深堀 ・ワークショップで話し合った内容のまとめ



### 3 コーディネーターの紹介

**吉岡 剛 氏（東京大学大学院工学研究科 特任研究員）**

再生可能エネルギー等に関する調査・研究、国・自治体の政策支援、地域におけるエネルギー事業の立ち上げ等に従事。脱炭素先行地域評価委員会委員（環境省）。

**田原 敬一郎 氏（未来工学研究所／科学コミュニケーション研究所）**

科学技術が関わる社会問題や地域創生などを対象に、対話方法論の研究や実践的活動に従事。東京大学客員准教授、内閣府総合科学技術会議検討 WG 委員などを歴任。

**宇都 幸那 氏（グラフィックレコーダー）**

イベント参加者の思考を深め、話し合いの中で良いもやもやを作るため、グラフィックを用いた場づくりに従事。北海道大学環境科学院修士課程修了。

**黒崎 晋司 氏（株式会社黒崎事務所 代表取締役）**

総合計画・農業振興計画など自治体の計画策定や行財政改革などを始め、計画策定に不可欠な住民参加のワークショップの企画・運営に全国各地で携わる。

**篠田 さやか 氏（オフィス・キュア代表）**

都市計画コンサルタントとして、市民参加型まちづくりに関する調査等に携わるとともに、参加の場におけるファシリテーター、PI トレーニングやコミュニケーション研修講師を務める。

### 4 その他

講演やパネルディスカッションを含め、当該ワークショップの成果を発表するシンポジウムの開催を下記のとおり予定しています。詳細が決まりましたら、あらためて記者発表させていただきます。

【シンポジウムについて】

日時：12月11日（日）14時00分～2時間程度

場所：豊川市音羽文化ホール（豊川市赤坂町松本 250）

【お問合せ先】

豊川市産業環境部農務課 田邊・山本（今）

TEL：0533-89-2138 Eメール：nomu@city.toyokawa.lg.jp